令和２年 12 月
【007 号】

DreamGP
Dream Growing Platform
株式会社ドリーム・ジーピー
【大阪本社】
〒 556-0004
大阪市浪速区日本橋西１丁目 3-19 南海日本橋ビル１F
TEL:06-4708-4877 ／ FAX:06-4708-4789

2020 年をふり返って

歴史を遡ぼると、今から約１００年前に世界を震撼させたスペイン風邪、中世ヨーロッパにおけるペストパンデミック、比較的近い記憶ではエイズやエボラ出血熱等々、数知れない災厄が襲う中、その度に免疫を獲得し生存を果たした人類が今日まで歴史を紡いで来ました。

そして今年は、年明け間もなくから新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、今冬はまさにその第３波の渦中にありますが、コロナ禍が人類史上にもたらした大変化について考えてみると、それは端的に、劇的なＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）への引き金となったということではないでしょうか。

ビジネスの現場において、フェイストゥフェイスによる会議や商談（同期型）が常識であったのが、オンライン会議システムを利用したそれへ一気にシフトし、弊社においても、直接顔を合わせなくても進められる案件（非同期型）については、様々なデジタルツールを用いていつでも関係者間で共有出来るスタイルへと舵を切りました。

また、社会全体のモノ（商品）の流れも「工場→問屋→小売店→顧客」といった常に大量の在庫を抱え、実は52%もの廃棄を余儀なくする従来型システムから、インターネットという社会的インフラの普及によるコト（情報）の大変化により、自分が直接出向かなくとも文房具～大型家具、更には温かい食事に至るまで、あらゆるモノが即座に自宅まで届けられるような時代になりました。

このような中、コロナ禍は、ビジネスにおける本質的な価値が、実は『創造性』にこそあるというのを益々明らかにし、日々の生活においては、『一人ひとりが健康であること』こそが最も重要な価値であることを、今一度気付かせてくれたのではないでしょうか。

義肢装具に関わる皆様におかれましても、いよいよデジタル化を推進し、デジタルネイティブという新しい世代の息吹を取り入れ、次世代へと繋げる準備を始めるタイミングなのかも知れません。

今年はオンラインセミナーの企画開催や本ニュースレターの創刊等、弊社においても新たな試みの一年となりました。

これからも、少しでもよりよい社会を残すため、社員一同、挑戦して参ります。

皆様益々のご活躍とご多幸を祈念し、心からの感謝に代えて。

株式会社ドリーム・ジーピー
代表取締役社長　荒山元秀

(株)ドリーム・ジーピー 2020 年新たな取り組み

２０２０年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行への脅威に終始し、人類社会が様々に新たな認識を余儀なくさせられた一年でした。

そしてまた本年は、弊社においても新たな試みに取り組んだ一年でもありました。

特に、オンラインセミナー開催にあたっては、客員講師の方々、参加者の皆様には心より御礼申し上げます。

月日	ジャンル	イベントタイトル	ゲストスピーカーほか
1/25･26	学会・展示会	第 16 回日本整形靴技術協会学術大会福岡大会出展	
4/25	ｵﾝﾗｲﾝｾﾐﾅｰ①	『これからの義肢装具士の役割 ～日本・タイ・トーゴとの関わりから～』	坂井一浩氏 人間総合科学大学教授
5/16	ｵﾝﾗｲﾝｾﾐﾅｰ②	『これからの義肢装具士の役割と学ぶべきこと ～ DX（デジタルシフト）を加速する～ 』	東江由起夫氏 新潟医療福祉大学教授
6/10	ﾆｭｰｽﾚﾀｰ	「ギシナビ News」創刊（毎月１回配信）	http://www.gishinavi.com/news/
6/20	ｵﾝﾗｲﾝｾﾐﾅｰ③	『自身の経験知から ～フィールド・バックヤード・セカンドキャリア～ 』	森下尚紀氏 株式会社 MPandC 代表取締役社長
7/3	ｸﾞﾗﾝﾄﾞｵｰﾌﾟﾝ	My Foot Station 泉大津店（大阪府泉大津市）	https://www.myfoot.jp/ozu/
7/18	ｵﾝﾗｲﾝｾﾐﾅｰ④	『義肢装具業界と地域貢献と ～業界が目指すべき方向性とは～ 』	有圖泰弘氏（有圖義肢㈱ 代表取締役）、楠岡誠広氏（楠岡義肢製作所㈱ 代表取締役）、鈴木和敏氏（㈲テクテクワークショップ代表取締役）
8/23	ｵﾝﾗｲﾝｾﾐﾅｰ⑤	『スポーツ医学研究を通して見えた予防医学という視点 ～スタンフォード大学での学びから～ 』	福島八枝子氏 「一般社団法人 運動神経良くするプロジェクト」代表、医学博士
8/26	ｵﾝﾗｲﾝ授業	第２回神戸医療福祉専門学校三田校整形靴科との共催授業	
9/26	ｵﾝﾗｲﾝｾﾐﾅｰ⑥	『導入のキッカケ、選ばれたワケ ～弊社システム導入企業様ここだけの話～ 』	國枝毅士氏（㈲ 中部義肢）、三輪和弘氏（東名ブレース㈱工場長）
10/17	ｵﾝﾗｲﾝｾﾐﾅｰ⑦	『24 時間体制のケアサポートを考えた開発 ～“正しい靴下”の着用を習慣にすることの意義～ 』	中林功一氏（㈱山忠取締役会長）、亀山貴司氏（同係長）
12/19	ｵﾝﾗｲﾝｾﾐﾅｰ⑧	『商品開発にかける思い ～「あゆみシューズ」誕生ストーリー～ 』	十河孝男氏 徳武産業㈱ 代表取締役会長

【 年末年始休業のお知らせ 】
2020 年 12 月 26 日（土）～ 2021 年１月４日（月）
※ 2021 年１月５日（火）より通常営業致します

【番外編】
母国の紹介

トーゴ共和国 年末年始 お祝いの慣習

←原文はこちらから
Original

アドゥアヨム・アヘゴ・アクエテビ（弊社研究員）

トーゴの年末は、家族や友人が一緒に過ごすお祭りです。

大晦日には、多くの人が教会に行き、新しい希望と決意を持って新年を迎えます。新年の日には、家族や友人が集まって食事を共にしたり、互いに挨拶を交わしたりします。

また、遠方に住んでいる旧友に年賀状を送ることもあります。年末の祭りのほとんどの間に、休日のイベントがあり、人々は友人や親戚との時間を過ごすために都市全体を旅行します。オープンスペースやビーチサイド周辺がポピュラーなお祝いの場所として利用されたりもします。

◎トーゴ共和国の基礎情報（外務省 HP から）
https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/togo/data.html

Why JAMBO Project?
（なぜ JAMBO プロジェクトなのか？）

ジャンボプロジェクト
JAMBO Project
Japan-Africa Medical Bridge Organization Project

※ JAMBO プロジェクトの主旨と具体的構想についての原文および日本語訳は、QR コードからお読み頂くことが出来ます。

第8回 Zoom 利用による無料オンラインセミナー

義肢装具士の皆様へ

振替開催決定！

『 商品開発にかける思い ～「あゆみシューズ～ 』誕生ストーリー～ 』

【日時】2020 年 12 月 19 日（土）14：00 ～ 16：00

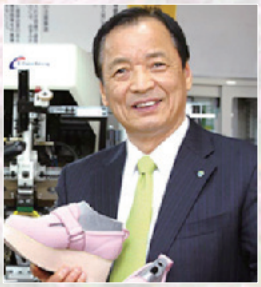
【演題】

1．14：00 ～ 15：15

『 商品開発にかける思い ～「あゆみシューズ」誕生ストーリー～ 』

客員講師：十河 孝男 氏（徳武産業株式会社 代表取締役会長）

「あゆみシューズ」シリーズの一例



十河 孝男 氏

～～～～～休憩（15：15 ～ 15：25）～～～～～

2．15：25 ～ 15：45

『 弊社企画「プロジェクト 1000」～シンデレラキューブの可能性～ 』

講師：成毛 喜男 氏（弊社執行役員）

3．15：45 ～ 16：00

『 水道水で手軽に作れる高機能除菌スプレー“e- 3X”のご紹介

～コロナ禍第３波への有効な除菌対策として～ 』

客員講師：五十嵐 義明 氏

（株式会社 MTG BEAUTY STORE 事業本部 営業推進課 課長）

Cinderella Cube

【お申込み・お問合せ】 ※お申込み期限：12 月 17 日（木）

主催 ㈱ドリーム・ジーピー

TEL：06-4708-4877 ／ FAX：06-4708-4879

E-mail：info@dreamgp.jp

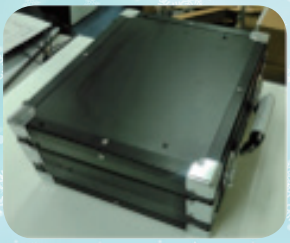
・「氏名（ふりがな）、貴社名、所属名・役職、電話番号、メールアドレス」をご用意の上、ＦＡＸまたは E-mail にてお申し込みください。

セミナー当日、お伺いしたメールアドレスへ専用ＵＲＬを送信致しますので、そちらをクリックしてご参加下さい。

計 測 機　携帯型シャーム計測機〔 品番：TSC-120 〕

- コスト削減
- 復元機能が簡単
- 時間短縮
- 石膏不要
- 三次元 CAD データ化

オートデザインインソール G ※オプション　PC



収納時もコンパクトに

PC の収納が可能に

スキャニングはわずか 20 秒で

弊社開発のインソール設計ＣＡＤソフト「オートデザインインソール G」について IT 導入補助金の活用が可能になりました。今期のお申込み〆切は 12 月 18 日(金)まで。

【 携帯型シャーム計測機３つの特長 】

① コンパクト！（アタッシュケースサイズにノート PC 収納スペースを確保、持ち運びも楽々）

② 石膏レス＆再現性（トリッシャムのスキャニング計測が可能。保存データからの再製作が可能）

③ 時間短縮により作業効率アップ！（出先での計測→データ作成→送信が可能）

新 計測結果の表示画面も一新され、機能的＆スタイリッシュに！

【仕様】

［スキャナー部］

●外形寸法：（収納時）横 390 ×高さ 160 ×奥行 315mm

（使用時）横 390 ×高さ 400 ×奥行 535mm

●質量（PC 込）：10kg

【電気的仕様】

［スキャナー］

●電源交流：100V 50-60Hz 共有

●消費電力：6W

［PC］

● OS：Windows10

●電源交流：100V 50-60Hz 共有

●消費電力：120W

End year celebration custom in Togo

Akouetevi Aduayom-Ahego, PhD

End of year in Togo is a usual festival moment that family and friends spend together. Often during the new year eve, most people go to church to welcome the New Year with new hope and new resolutions. On the new year day, families and friends gather together to share meals, extend greetings of best wishes to each other. Also, greetings cards of best wishes can be sent to old friends living far from home. During most of end year festival, there are holidays events, people travel across the cities to spend time with friends and relatives. Some of popular celebration places are held at open spaces and near the beach side.

Why JAMBO Project?

Akouetevi Aduayom-Ahego, PhD

The UN (United Nations) sustainable development millennium goals has stated in goal 8.5 that “by 2030, achieve full and productive employment and decent work for all women and men, including for young people and persons with disabilities, and equal pay for work of equal value”. The reintegration into a sociable life is very necessary for any amputated person. Although people with disability are in need of prosthetics devices, availability is limited. Our research conducted in sub Saharan Africa countries such as Ghana and Togo in prosthetics and orthotics highlighted some of the challenges the prosthetics service face mainly lacks of sufficient facilities and care providers. To foster the development and research of the rehabilitation service Africa, an attempt of providing prosthesis to people in need has to be considered. Not only we have identified the challenges through our research, we also took initiative to contribute to the quality of life of people living with disability in developing countries. We are developing a 3D printing prosthesis model for African amputees in which we will recycle the plastic materials locally in Africa to provide affordable prosthesis. We will collect in a bigger scale the plastic garbage, thus cleaning the environment. We will collaborate with international institutions and non-governmental organizations for expansion of the new technology in all Africa countries and establish satellite centers in remote areas in order to serve locally populations living with physical disabilities.

なぜJAMBOプロジェクトなのか？

アドゥアヨム・アヘゴ・アクエテビ（博士号）

国連（国連）の持続可能な開発ミレニアム目標 8.5 には、「2030 年までに、若者や障害者を含むすべての女性と男性のための完全かつ生産的な雇用とディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を達成し、同価値の労働に対して同一賃金を実現する」と掲げられています。（四肢等を）切断された人々にとって、社会生活への復帰は非常に必要なことであり、障害をもつ人々は義肢装具を必要としていますが、（実際には）それを利用出来る可能性は限られています。ガーナやトーゴなど、サハラ以南のアフリカ諸国で行われた義肢装具の研究では、義肢装具サービスが直面している課題のいくつかが、主に十分な施設とケア提供者の不足であることが浮き彫りになりました。そこで、アフリカのリハビリテーションサービスの発展と研究を促進するために、義肢装具を必要としている人々に提供する試みを検討しなければならないと考え、私たちは、研究を通じて課題を抽出するだけでなく、開発途上国の障害を持つ人々の生活の質の向上に貢献するための取り組みを行っています。（具体的には、現在）アフリカの切断者のための3Dプリンティング義足モデルを開発しており、（また、アフリカでの製作にあたっては）現地のプラスチック材料をリサイクルして使用し、リーズナブルな価格で義足を提供しようと考えています。（これにより）プラスチックのゴミを大規模に回収し、環境をきれいにします。（また、）国際機関や非政府組織と協力して、アフリカ各国での新技術の普及を図るとともに、遠隔地にサテライトセンターを設置し、現地の身体障害者にサービスを提供していきます。